

講義名	企業論特別講義（官公庁）		
科目区分	特別研究		
担当教員	上田 真由美 / 辻 美代		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	23090

主題と概要

本講義は将来官公庁で働くことを希望している学生に、その仕事内容や将来の課題・展望などについて知ってもらうために開講される。官公庁としては警察・消防・市役所・県庁を主たる対象としている。この授業の特徴は、官公庁の方に、基礎的なことから最新の動向まで講義していただく点、その講義内容の補足内容を本学教員が講義することで補う点である。特に、市役所の実務担当者のみならず、市長など役職級の方をお招きして、講義していただき、官公庁の仕事について受講者に理解してもらおう。この業界を志望している、あるいはまだ明確ではないが関心を寄せている方は、是非受講してほしい。

到達目標

警察・消防・市役所・県庁など、「官公庁」に分類される様々な組織の、業務の実際についての理解を深める。これにより、公務員という言葉で漠然と語られることもある業界の仕事内容について、学生がビジョンを描きやすくなり、またそこで働くというモチベーションが醸成できる。

提出課題

外部講師が担当された回は、事後レポートを提出すること。
担当教員が担当する回の課題は、授業中の指示に従うこと。

評価の基準

外部講師への質問、出席回数、事後レポートの内容、担当教員が与えた課題その他を総合して評価する。

履修にあたっての注意・助言他

市長など、組織の長の方に外部講師として来ていただきます。
以下の項目をよく確認し、失礼のない態度で受講すること。
(1) 受講態度に十分注意すること
遅刻
授業途中での退出
私語
居眠り
スマホをいじること
飲食物を机上に並べること

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

初回の授業で指示します。

授業計画

現在、官公庁と調整中であり、外部講師の決定後お知らせします。
兵庫県庁、兵庫県警、尼崎市、東大阪市、大阪税関などを予定しています。

予習・復習

事前課題が与えられた場合は必ず資料に目をとおり、事後レポートについては時間をかけて作成のこと。

備考